



市民主体の取り組み

おいしい野菜は土づくりから
～ 土づくりは人づくり ～

土づくり勉強会 (環境と有機農法)

環境問題は土づくりから

現在の見た目がよく大量に生産する農作物は、化学肥料や農薬が使用されており、それが土壌、水質、大気汚染をもたらすといわれています。

そこで、美濃加茂の環境を考える会(代表中山千津子さん)では、環境問題に関する講習会として、化学肥料を使用しない有機農法の必要性を広める「土づくり勉強会」を毎月行っています。

「土づくりを学ぶ会」発足

「土づくり勉強会」は、講師に無農薬有機農法指導の桃井末廣さんを迎え、昨年度は2回、今年度には



▲土づくり勉強会で講師桃井末廣さんの指導を受ける参加者

入ってからは、来年の1月までに毎月開催する予定です。勉強会では、野菜くずをたい肥にするための実践指導も行っており、農家の人から家庭菜園を手がける人まで、多くの人が積極的に参加しています。

「土づくり」の実践

また、この勉強会を通して、土づくり、有機農法を推進する「土づくりを学ぶ会」が発足し、この事業の主体となりつつあります。

「土づくりを学ぶ会」では、平成記念公園「日本昭和村」にある実験畑を使い、勉強会に基づいた土づくり、レタスやキャベツなどの野菜づくりを実践しています。

そのほか、7月27日には、日本昭和村で、無農薬有機農法で作ったおいしい生野菜を食べてもらうと収穫祭を行いました。

会
ぶ
を
学
ぶ
の
メ
ッ
セ
ー
ジ
の
土
づ
く
り
か
ら

おいしい食べ物、家族の健康、地域の環境づくりは「土づくり勉強会」から

「土づくりを学ぶ会」では、今年4月から、毎月「土づくり勉強会」を行い、有機農法の普及を進めています。

同勉強会には、大変多くの人たちに参加いただいています。それだけ環境や健康、食物が大切な問題であるという意識を持っているからだと思えます。

この勉強会を通し、土づくりに欠かせないたい肥が、家庭から出る野菜くずから作ることができ、焼却場などで処分することがいかにもつたいないことであるかということを広めたいですね。

有機農法を広める今の取り組みは、まだ家庭菜園レベルですが、将来的には、各地区で家庭から出た野菜くずを乾燥させたものを回収し、それをたい肥にして農家などで利用するようなシステムができればと思います。

美濃加茂市が完全無農薬の有機栽培で有名になり、地域の人が安

心しておいしい農産物を食することができるよう、また、販売して産業にもなれば嬉しいですね。誰でもおいしい物を食べたいと思うはず。まずはそこから興味を持っていただき、勉強会に参加して正しい土づくりや、有機農法を学んでください。それが、環境への取り組みにも、また、自分や家族が健康で暮らすことができ、地域づくりにつながります。土づくりに環境も浄化され人もつくられるということを知ってほしいですね。



土づくりを学ぶ会の皆さん